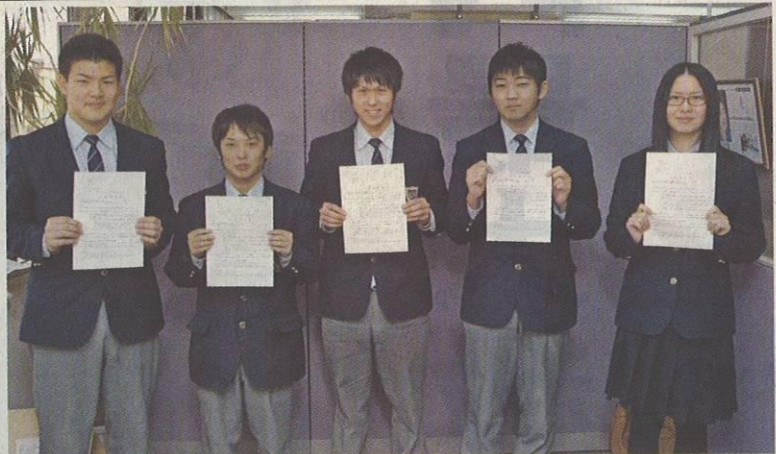


光星高普通科特進コース

# 北大水産学部に5人合格 海洋研究 早くも意欲

八戸市の光星学院高校(法官新一校長)の3年生5人が、大学入試で北海道水産学部に合格した。5人もの大量合格は同校初の快挙で、青森県内でも珍しいとみられる。生徒たちは、海洋生物や海洋資源に関する知識を



合格通知書を手を笑顔に見せる、左から岩本雅貴君、磯島真人君、佐藤鉄馬君、向井和樹君、大澤麻衣子さん

深めたいと、早くも意欲を高めている。普通科特別進学コースの磯島真人君と岩本雅貴君、佐藤鉄馬君、向井和樹君、大澤麻衣子さんと、面接や小論文で合否を決めるAO(アドミッション・オフィス)入試を受験した。同大によると、

AO入試での学部受験者は45人で、うち20人が合格した。5人とも同校の自然科学研究会に所属し、海洋生物の生態系や海洋資源の保全などに関心が高い。同市の水産庁東北水産研究所八戸庁舎や、階上町の県栽培漁業センターなど

で、魚の生態や養殖方法などを学んできた。佐藤君は「海が身近な所で育ったので、海洋生物の生態研究に興味があった。合格できてうれしい」、大澤さんも「まだ実感はないけど、海水温と海洋資源の関係を調べたい」とキャンパスライフに夢を膨らませる。

同高普通科長の門馬

修教諭は「東日本大震災の復興を担うのは若い人たち。大学で大いに学び、いずれさまさまな分野で復興に関わることを期待したい」と祝福した。